

2018年7月27日
東京ガス株式会社

2019年3月期第1四半期決算説明会
主なQ&A

- Q1：年度見直しを変更していない理由について教えてほしい。
- A1：ガス小売全面自由化以前は、収支の主な変動要素が気温や経済フレーム等限定的であったが、自由化に伴い、既存需要の脱落等、収支の変動要素が増加している。このような環境下においては、実績の一部変動要素だけでなく、将来の変動可能性も総合的に判断して収支想定をすることが重要になると考えている。1Q実績において、気温やフレーム影響による変動はあるものの、通期では当初計画通りの収益を見込むことができると判断し、変更していない。
- Q2：1Qの小売電力獲得は順調か。またガスの脱落についてはどのように評価しているか。
- A2：小売電力については順調に件数を伸ばしていると考えている。ガスの脱落については、想定の範囲内で推移していると考えているが、今後も動向には注視していく。
- Q3：1Qの都市ガス販売量が対前年比較で減少している要因は何か。
- A3：発電専用のお客さまの設備稼働減や、4月の高気温により家庭用・業務用等のお客さまの給湯需要が減少したことによるもの。
- Q4：1Qの電力販売量が対前年比較で減少している要因は何か。
- A4：主に自社電源の定期検査を実施したことにより、自社発電量が減少したことに対応するもの。

以上